

街の葉が色づき始めましたね。季節の変わり目で寒暖差が激しく体調を崩しやすい季節ですので、体調管理に気をつけていきたいものですね。さて、今回ベネッセの教育情報サイトより「ヘリコプターペアレント」について、ご紹介いたします。

ご存知ですか？

〇〇「ヘリコプターペアレント」

<ヘリコプターペアレントって何？>

ヘリコプターペアレントは「過保護」や「過干渉」と同じ意味です。ヘリコプターがホバリングをするように子どもを見張り、子どものやることに必要以上に関わり続ける親のことだそうです。アメリカで生まれた言葉で過保護や過干渉と同じ意味で使われることが多いそうです。「ヘリコプターペアレント」は「子どもが傷つかないようにしたい」という思いから、子どものやることに必要以上に口を出したり、行動を制限したりします。そうすることで、困難なことや失敗を遠ざけ子どもを守ろうとしているのです。



<ヘリコプターペアレントの問題とは？>

子どもを大事に思う行動なのに、なぜ問題なのでしょう？それは、子どもが本来するべき経験を奪ってしまうからです。経験とは、自主的に行動したり決断したり、考えたりすること。失敗したり間違えたりしたときに乗り越えようと挑戦することも経験です。経験していない事はできるようになりません。その結果、常に人を頼らなければ行動できなくなる可能性があります。極端に言えば、親のサポートなしでは生きていけない依存体質の大人になってしまうということです。

「過保護ではない」と「放任」は違う

過保護がダメなら放任すれば良いのか？と誤ってしまいがちですが、これは違います。

「放任」は子どもに関心を持たずにほったらかしにすること。

「過保護ではない」は行き過ぎた保護はしないということです。つまり、適切な保護は必要だということです。病気の時に看病したり、子どもを見守ったりするのは過保護ではありません。

子どもを信頼して、程よい距離感で見守るのも過保護ではありません。

年齢や性格、必要な場面とそうでない場面を見極め、子どもとかわかっていく…とても難しい事ですが、それが子育てでは大事なことです。

『ベネッセ教育情報サイト』より一部引用させていただきました。



実際に子育てをしていたり、療育する中での課題ともなりますが…

今回はヘリコプターペアレントによって育った子供の特徴についてご紹介いたします。

何かご不明な点や心配なことがございましたら、ご相談ください。

<放課後等デイサービスかなで> TEL : 011-596-9915 HP : <https://www.jyfld.co.jp>